

2008 年度第 2 回「建築九州賞（作品賞）」

建築九州賞（作品賞）とは、（社）建築学会九州支部が、日本建築家協会九州支部、沖縄支部の共催で、九州地方における建築水準の発展に寄与し、学会と地域社会の交流を図り、一般市民の建築文化に対する理解を深めることを目的にして、創設されたものです。九州地方の地域性に立脚してその建築文化や環境形成の向上に貢献した優秀な建築作品を顕彰するものです。

2008 年度 建築九州賞（作品賞） 受賞作品及び受賞者



唐津山・積み木の家 佐賀県唐津市
矢作昌生（矢作昌生建築設計事務所）



白保の家 沖縄県石垣市
松山将勝（松山建築設計室）



志井のクリニック 福岡県北九州市
未廣宣子（NKS アーキテクト）
未廣香織（九州大学）



タテスリー高宮 福岡県福岡市
谷口遵（建築デザイン工房）有吉兼次（ズークー級建築士事務所）
信濃康博（信濃設計研究所）蓮子龍美（エイドトラス設計事務所）
塚本みわ・師井康太郎（九電不動産）



福岡県醤油会館 福岡県筑紫野市
柳瀬真澄（柳瀬真澄建築設計工房）

選考概要

本賞の選考は、総合的な観点から応募作品を評価することを重視し、日本建築学会九州支部常議員会、同研究委員会、日本建築家協会（JIA）九州支部及び沖縄支部から推薦された委員 11 名による選考部会が行った。選考部会では、応募作品 60 作品について、応募書類にもとづく第 1 次選考、応募者のプレゼンテーションと質疑による第 2 次選考、現地調査にもとづく第 3 次選考を行い、表彰目的に即した視点（1. 場所性と環境を反映した建築提案、2. 時代性をふまえた企画力、3. 技術力（表現性、独創性、機能性）、4. 地域への貢献および文化度）から評価した。選考の結果、上記のとおり総合的に優れた 3 作品を「作品賞」に決定し、また、特に地域の建築についての独自の視点や新しい意匠並びに技術の提案が評価される 2 作品を「JIA 特別賞」に決定した。

併せて、第 1 次選考を通過した 34 作品を「九州建築選」として広く紹介することとし、受賞 5 作品を「優秀作品」、他の第 3 次選考対象 7 作品を「佳作作品」、その他の第 2 次選考対象 22 作品を「奨励作品」に位置づけた。